

# おだか

第 2 5 号

2 0 1 4

平成 26 年 12 月 19 日 (金)

南相馬市

小高小学校

学校だより



2 学期、8 1 日間がもう少しで終わります。暑い夏から初雪が舞う 1 2 月までの長い期間になりましたが、さまざまな面で本校の教育にご協力をいただきありがとうございました。

この 8 1 日間のお子様の成長はいかがでしたでしょうか。子どもたちの学校でのがんばりは、2 2 日にお渡しする通知票「あすなろ」に記載しておりますので、これからの学習や生活の参考にしていただければありがたいと思います。一人一人個性も違い、得手、不得手もあるのが人間ですが、自分を常に磨いていく前向きな気持ちで、今年を終えることができれば最高ではないでしょうか。

年が明けた 1 月 1 4 日、1 5 日には、すべての学年で学力テストを行います。短い冬休みになりますが、国語、算数を中心に復習をがんばらせたいと考えています。「読み・書き、そろばん」は一生使う基礎的なスキルです。子どもたちの将来をみすえて、家庭学習の習慣づくりとともに、しっかり身につけさせたいですね。新年まで少し早いごあいさつになりますが、来年度もよろしくお願いたします。



## 南相馬市民の歌

～あなたは、歌詞をご存じですか～



校歌を歌うため、全校生が集まりました

南相馬チャンネルは震災復興情報をテレビ映像で、南相馬市民に届ける事業です。総務省の補助を受けて平成 25 年 2 月 21 日に 17 ヶ所の送信所を整備し放送

を開始しました。平成 26 年 3 月 1 日より視聴区域拡大を行い、現在は合計 24 ヶ所の送信所で放映をしています。

このたび、「市民の歌」普及のため、各小学校でこの歌を歌っている様子を放映する企画があり、1 1 日 (木) に多目的室で本校も撮影をしていただきました。児童数の関係から、1～3 年生のチームと 4～6 年生のチームに分けて撮影しました。4～6 年生は「南相馬市民の歌」を歌い、次に全校生で「校歌」を歌いました。最後に 1～3 年生が「気球に乗ってどこまでも」を歌い、撮影が終了しました。緊張気味の子どもたちでしたが、撮影時には明るく元気に歌うことができました。すばらしい集中力でした。

放映は、来年 1 月の予定です。

# 理科観察実験授業

17日(水)に、小高区4校の3～6年生を対象に行いました。これは、復興教育支援の一環として「日本理科教育振興協会」から提案をいただいたものです。理科離れが叫ばれていますが、子どもたちに観察や実験の体験を通して科学の不思議や楽しさを味わってもらい、理科を好きになってもらいたいという意図があります。学年が進むにつれて発表が消極的になる傾向はありますが、実験をする時の子どもたちは、学年に関係なく、生き生きとして授業に参加していました。



3年授業「ものと重さ」…重さはいくらかな？



4年授業「水をひやすとどうなるか」



5年授業「電流の働き」



6年授業「大地のつくりと変化」

## 16日(火) 2年生活科発表会



2年生で、生活科の学習をしめくくる発表会を12日(金)行いました。

当日は、1年生や多くの先生方を招待し、「町たんけん」で調べて分かったことを紙芝居や模造紙にまとめ、役割を分担したり、クイズ形式で確認するなどしたりして発表してくれました。聞き手を意識して表現する力が、ぐんぐん伸びていると感じた発表会でした。

## 感謝の気持ちを新たに

今年も、小高小学校の子どもたちには多くの支援がよせられました。クリスマスにあわせてチョコレートやお菓子入り巾着袋をいただいたのは記憶に新しい所ですが、年間を通して本やCDの寄贈、特別講師としての学習支援など、さまざまな面でお世話になりました。

新年を迎えるにあたり、感謝の気持ちを新たにするとともに、子どもたちの成長に何が期待されているのかを、私たち教職員を含め考えていきたいと思ひます。

